

特定個人情報保護評価書の特定個人情報保護 評価指針への適合性・妥当性の審査

評価書名
情報提供ネットワークシステムの運営に関する事務 全項目評価書
評価実施機関名
内閣総理大臣
提出日
令和3年9月24日
概要説明日
令和3年10月1日

(目次)

○ 全体的な事項	1
○ 特定個人情報ファイル(連携用符号発行管理ファイル)	4
○ 特定個人情報ファイル(情報提供等記録ファイル)	12
○ 評価実施機関に特有の問題に対するリスク対策	20
○ 総評	21
○ 個人情報保護委員会による審査記載事項	21

全体的な事項

※ 評価実施手続に関する事項及び特定個人情報
ファイルに共通する事項

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
(1)しきい値判断 に誤りはないか。	—	—	—	—	問題は 認めら れない	対象人数が30万人以上に該当するため、 全項目評価を実施することは、指針に適合 している。
(2)適切な実施主 体が実施している か。	—	1. 評価実施機関が複数 存在し、取りまとめの評 価実施機関が評価書作 成・提出する場合に、 取りまとめ以外の全ての 評価実施機関について記 載しているか。	—	—	問題は 認めら れない	特定個人情報ファイルは、内閣総理大臣 が設置・管理する情報提供ネットワー クシステムにおいて保有するものであることか ら、実施主体は適切である。
(3)公表しない部 分は適切な範囲 か。	—	—	—	—	問題は 認めら れない	評価書の内容は全て公表することとして いる。
(4)適切な時期に 実施しているか。	—	—	—	—	問題は 認めら れない	特定個人情報の移行を伴う情報提供 NWSのシステム基盤の更改は令和3年11 月からデータ移行開始を予定しており、 データ移行開始前の適切な時期に評価を 実施している。
(5)適切な方法で 広く国民の意見を 求め、得られた意 見を十分考慮した 上で必要な見直し を行っているか。	—	—	—	—	問題は 認めら れない	国民への意見募集については、e-Gov (電子政府の総合窓口)において、32日間 実施し、得られた意見への対応状況はe- Govで公表することとしており、事後の措置 も適切である。
(6)特定個人情報 保護評価の対象 となる事務の実態 に基づき、特定個 人情報保護評価 書様式で求めら れる全ての項目 について検討し、 記載しているか。	—	—	—	—	問題は 認めら れない	情報提供ネットワークシステムの運営に 関する事務について、求められる事項が具 体的に記載されている。

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
(7)記載された特定個人情報保護評価の実施を担当する部署は、特定個人情報保護評価の対象となる事務を担当し、リスクを軽減させるための措置の実施に責任を負うことができるか。	—	—	—	—	問題は認められない	情報提供ネットワークシステムの運営に関する事務においては、デジタル庁デジタル社会共通機能グループが番号制度への対応を行っており、特定個人情報保護評価の対象となる事務の実施に当たって、リスクを軽減させるための措置の実施等については、責任を負うことができる部署である。
(8)特定個人情報保護評価の対象となる事務の内容の記載は具体的か。当該事務における特定個人情報の流れを併せて記載しているか。	①特定個人情報ファイルを取り扱う事務やその事務において使用するシステムについて、基本情報を具体的に分かりやすく記載しているか。	2. 評価対象の事務全体の概要及びその中で特定個人情報ファイルを使用して実施する事務の内容を具体的に記載しているか。	P.3	I 1. ②	問題は認められない	情報提供ネットワークシステムの運営に関する事務の内容について、符号の生成、情報連携の媒介及び情報提供等の記録の管理に分けた上で、特定個人情報ファイルを使用して実施する事務の内容がそれぞれの事務の流れに即し具体的に記載されている。 また、別添1の事務の内容では、事務に関わる者、事務において使用するシステム、事務において取り扱う情報の流れが具体的に記載されている。
		3. 当該システムが実現する機能の名称とその概要を具体的に記載しているか。	P.4	I 2. ②	問題は認められない	
		4. 当該システムと情報をやり取りするシステムを全て記載しているか。	P.5	I 2. ③	問題は認められない	
		5. 特定個人情報ファイルを取り扱うことが評価対象の事務を実施する上で必要であることを、事務の流れに即して具体的に説明しているか。	P.6	I 4. ①	問題は認められない	
		6. 評価対象の事務において特定個人情報ファイルを取り扱うことにより、期待されるメリットについて幅広く具体的に記載しているか。	P.6	I 4. ②	問題は認められない	
		7. 事務に関わる者、事務において使用するシステム、事務において取り扱う情報の流れを具体的に記載しているか。	P.7 ～ P.9	(別添1)	問題は認められない	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
(9) 特定個人情報 ファイルを取り扱 うプロセスにお いて特定個人情 報の漏えいその 他の事態を発生 させるリスクを、 特定個人情報保 護評価の対象と なる事務の実態 に基づき、特定 しているか。	—	—	P.30 ～ P.49	Ⅲ、Ⅳ	問題 は 認め られ ない	全項目評価書に例示されている各リスクにどのように対応しているかが具体的に記載されている。
(10) 特定され たリスクを軽減 するために講ず べき措置につ いての記載は 具体的か。 (11) 記載され たリスクを軽減 させるための 措置は、個人 のプライバシー 等の権利利益 の侵害の未然 防止、国民・ 住民の信頼の 確保という特 定個人情報保 護評価の目的 に照らし、妥 当なものか。	⑨ 特定個人情報 ファイルの取 扱いについて 自己点検・監 査や従業員 に対する教育 ・啓発を行っ ているか。	70. 評価書に記 載したとおり に運用がなさ れていること 等について、 評価の実施を 担当する部署 自らが、どの ように自己点 検するか具体 的に記載して いるか。	P.49	Ⅳ 1. ①	問題 は 認め られ ない	自己点検・監査については、「デジタル庁情報セキュリティポリシー」に基づき、年度監査計画を策定し、情報セキュリティ対策に係る自己点検結果の監査など、情報セキュリティ対策の監査を実施していること等が具体的に記載されている。
71. 評価書に記 載したとおり に運用がなさ れていること 等について、 どのように監 査するか具体 的に記載して いるか。		P.49	Ⅳ 1. ②	問題 は 認め られ ない	従業員に対する教育・啓発については、「デジタル庁情報セキュリティポリシー」に基づき、情報セキュリティ対策の教育に係る計画を策定し、デジタル庁の全職員を対象として、情報セキュリティ対策の教育を実施していること等が具体的に記載されている。	
72. 特定個人 情報を取り扱 う従業員等 に対しての 教育・啓発 や違反行為 をした従業 員等に対す る措置につ いて具体的 に記載して いるか。		P.49	Ⅳ 2.	問題 は 認め られ ない	また、特定個人情報の漏えいを含むセキュリティインシデント発生時の異常運用実施要領等を作成・運用し、インシデントが発生した場合の対応準備を整えていることが具体的に記載されている。	
73. 国民・住 民等からの 意見聴取に より得られ た意見を踏 まえて評価 書のどの箇 所をどのよ うに修正し たかを具体 的に記載し ているか。		P.51	Ⅵ 2. ⑤	問題 は 認め られ ない	寄せられた意見への回答として、一覧形式で取りまとめ、e-Govにて公表するとともに、意見内容を踏まえて評価書に追記・反映を行っている。	
(12) 個人の プライバシー 等の権利利 益の保護の 宣言は、国 民・住民の 信頼の確保 という特定 個人情報保 護評価の目 的に照らし 、妥当な ものか。	—	—	P.1	表紙	問題 は 認め られ ない	情報提供ネットワークシステムにおける特定個人情報ファイルの取扱いに当たり、情報漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために、特定個人情報の不正な情報取得及び一元管理・把握が不可能な仕組みの導入等の適切な措置を講じ、個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言している。

特定個人情報ファイル
(連携用符号発行管理ファイル)

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
<p>(8) 特定個人情報保護評価の対象となる事務の内容の記載は具体的か。当該事務における特定個人情報の流れを併せて記載しているか。</p>	<p>② 特定個人情報ファイルの取扱いプロセスの概要(特定個人情報の入手・使用、特定個人情報ファイルの取扱いの委託、特定個人情報の提供・移転、特定個人情報の保管・消去)について、具体的に分かりやすく記載しているか。</p>	<p>8. 対象となる国民・住民の特定個人情報を特定個人情報ファイルにおいて保有することが事務を実施する上で必要な理由を具体的に記載しているか。</p>	P.10	II 2. ③	問題は認められない	<p>特定個人情報を保有する理由について、番号法第19条第8号及び第9号の規定により、情報提供ネットワークシステムを使用して行われる特定個人情報の照会・提供の対象となる者の全ての連携用符号や情報提供用個人識別符号を生成する必要があることが具体的に記載されている。</p> <p>特定個人情報の使用目的について、新たに生成する連携用符号と生成済みの連携用符号の重複防止等のために使用することや、符号生成処理状況の統計処理に使用すること等が具体的に記載されている。</p>
		<p>9. 主な記録項目について、保有する理由をそれぞれ具体的に記載しているか。</p>	P.10	II 2. ④	問題は認められない	
		<p>10. 特定個人情報の入手に係る妥当性を具体的に記載しているか。</p>	P.11	II 3. ④	該当なし	
		<p>11. 特定個人情報の入手の事実及び使用目的が本人に示されていることを具体的に記載しているか。</p>	P.11	II 3. ⑤	問題は認められない	
		<p>12. 特定個人情報を使用する理由を具体的に記載しているか。</p>	P.11	II 3. ⑥	問題は認められない	
		<p>13. 特定個人情報ファイルに記録される情報を他から入手する際の突合の内容、特定個人情報ファイルに記録された情報と他の情報との突合の方法や突合の理由を具体的に記載しているか。</p>	P.11	II 3. ⑧	問題は認められない	
		<p>14. 特定個人情報を用いた統計分析を行う場合は、その内容を具体的に記載しているか。</p>	P.11	II 3. ⑧	問題は認められない	
		<p>15. 特定個人情報を使用することにより国民の権利利益に影響を与え得る決定を行う場合は、その内容を具体的に記載しているか。</p>	P.11	II 3. ⑧	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
		16. 委託先に当該特定個人情報ファイルを取り扱わせることが必要な理由を具体的に記載しているか。	P.12 ～ P.15	II 4. ②	問題は認められない	委託先に特定個人情報ファイルを取り扱わせることが必要な理由として、システム全般に係る保守・運用やシステム基盤更改に伴うデータ移行等を適切に実施するため、専門的かつ高度な知識・技術を要すること等が具体的に記載されている。
		17. 委託先を国民・住民等が確認できるか否か、確認できる場合はどのように確認できるか、確認できない場合はそのような取扱いが評価対象の事務を実施する上で必要な理由を具体的に記載しているか。	P.12 ～ P.15	II 4. ⑤	問題は認められない	
		18. 特定個人情報ファイルの取扱いを再委託するに当たって、どのような手続・方法によるかを具体的に記載しているか。	P.12 ～ P.15	II 4. ⑧	問題は認められない	
		19. 提供した特定個人情報が、提供先において、いかなる目的で、どのように使用されることになるかを具体的に記載しているか。	P.16	II 5. ②	該当なし	—
		20. 移転した特定個人情報が、移転先において、いかなる目的で、どのように使用されることになるかを具体的に記載しているか。	P.16	II 5. ②	該当なし	
		21. 特定個人情報の保管場所の態様及び保管場所への立入り制限・アクセス制限について具体的に記載しているか。	P.18	II 6. ①	問題は認められない	特定個人情報の保管・消去について、保管場所においては入退室管理等を厳格に実施し、運用端末からのアクセスはできない仕組みとなっていること、生成済みの符号に関する情報は恒久的に保管する必要があるため、原則として消去しないこと等が具体的に記載されている。
		22. 特定個人情報の保管期間は妥当であるか。また、その理由を具体的に記載しているか。	P.18	II 6. ②	問題は認められない	情報提供ネットワークシステム移行の際に実施する特定個人情報の消去について、機器を破棄する場合、データを復元できないようディスクを物理的に破壊し、職員が当該措置の完了まで立ち会いを行うなど確実な履行を担保すること等が具体的に記載されている。
		23. 保管期間を経過した特定個人情報を消去する方法を具体的に記載しているか。	P.18	II 6. ③	問題は認められない	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
<p>(10)特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置についての記載は具体的か。</p> <p>(11)記載されたリスクを軽減させるための措置は、個人のプライバシー等の権利利益の侵害の未然防止、国民・住民の信頼の確保という特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	<p>③特定個人情報の入手について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。</p>	<p>24. 評価対象の事務を遂行する上で必要な者以外の者の特定個人情報を入手しないよう講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク1:	該当なし	
		<p>25. 事務を遂行する上で必要な情報以外の特定個人情報を入手しないよう講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク1:	該当なし	
		<p>26. 特定個人情報の入手に際して、適切な方法で入手するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク2:	該当なし	
		<p>27. 特定個人情報を入手する際に、その特定個人情報が本人の情報であることを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク3:	該当なし	
		<p>28. 入手した個人番号が本人の個人番号で間違いないことを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク3:	該当なし	
		<p>29. 特定個人情報を入手した後、その情報の正確性を保つために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク3:	該当なし	
		<p>30. 特定個人情報を入手する際に、情報の安全確保の観点から講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.30	Ⅲ 2. リスク4:	該当なし	
		<p>31. 特定個人情報の入手において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。</p>	P.30	Ⅲ 2. その他のリスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
④特定個人情報の使用について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。		32. 宛名システム等において、特定個人情報、使用目的を超えて取り扱われないよう、また、評価対象の事務に必要な情報と併せて取り扱われないよう、講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.31	Ⅲ 3. リスク1:	問題は認められない	<p>権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策として、アクセス権限の発行・失効に係る記録を管理するほか、職員や運用者の異動等に伴い、必要な権限を確認し、迅速に発行・失効を実施すること等が具体的に記載されている。</p> <p>また、特定個人情報ファイルが不正に複製されるリスクへの対策として、許可されていない外部媒体への書き出しを系統的に禁止すること等が具体的に記載されている。</p> <p>連携用符号の生成については、特定個人情報の使用に係るリスク及びリスク対策として具体的に記載されている。</p> <p>情報提供ネットワークシステム移行に伴うリスク対策として、特定個人情報のデータ移行は同一セクター内で行い、第三者はアクセスできないことが具体的に記載されている。</p> <p>また、移行用一時ファイルを暗号化すること、移行用一時ファイルのアクセスを制限し一般ユーザからのアクセスを不可とすること、ログ情報等の統合分析・監査を行うシステム(SIEM)を用いて、作業ログ、ファイル、フォルダ等のアクセス状況を監視・分析し、不正の兆候や不正アクセスの検知を行うこと等が具体的に記載されている。</p>
		33. 事務で使用するその他のシステムにおいて、特定個人情報、使用目的を超えて取り扱われないよう、また、評価対象の事務に必要な情報と併せて取り扱われないよう、講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.31	Ⅲ 3. リスク1:	問題は認められない	
		34. 特定個人情報にアクセスする際の認証を行う場合は、特定個人情報にアクセスするユーザの認証方法、なりすましが行われぬために講じている対策について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.31	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認められない	
		35. 特定個人情報ファイルを取り扱う者が正当なユーザであることを確認するための情報の発効・失効の管理について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.31	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認められない	
		36. アクセス権限の発効・失効の管理を行う者による当該管理の適正性についてチェックをしている内容を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.31	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認められない	
		37. 特定個人情報の入手から消去までの各過程において、特定個人情報ファイルの取扱い記録やアクセスの失敗の記録などを残していることを具体的に記載しているか。記録を残していない場合は、残していても権限のない者による不正な使用を防止できる理由を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.31	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認められない	
		38. 従業者が特定個人情報ファイルを事務外で使用しないよう講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.32	Ⅲ 3. リスク3:	問題は認められない	
		39. 特定個人情報ファイルを取り扱う者が特定個人情報ファイルを不正に複製しないよう講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.32	Ⅲ 3. リスク4:	問題は認められない	
40. 特定個人情報の使用において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.32	Ⅲ 3. その他のリスク	問題は認められない			

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑤特定個人情報の委託について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。	41. 委託先を決定する際に特定個人情報ファイルを適切に取り扱う委託先であることを確認する手続等について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.33	Ⅲ 4. 情報管理体制	問題は認められない	特定個人情報ファイルの取扱いの委託における特定個人情報ファイルの取扱いについては、委託契約書にて具体的にルールを定めているほか、手順書・指示書等によって作業内容を明確にすること、システムにおいてもアクセスログや操作ログを全て記録すること等が具体的に記載されている。 また、再委託は原則として行わないこととしているが、再委託を行う場合には、再委託先に対して委託先と同等の安全管理措置を義務付け、必要かつ適切な監督を行うこと等が具体的に記載されている。 また、委託契約終了後の特定個人情報の消去については、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)に準拠した廃棄プロセスを確保すること等が具体的に記載されている。
		42. 委託先において特定個人情報ファイルの閲覧者・更新者を必要最小限に制限していることを具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.33	Ⅲ 4. 閲覧者の制限	問題は認められない	
		43. 委託先における特定個人情報ファイルの取扱いについて記録を残している場合は、その方法や保存期間等を具体的に記載しているか。また、記録を残していない場合は権限のない者による不正な使用を防止できる理由を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.33	Ⅲ 4. 記録	問題は認められない	
		44. 委託に伴う特定個人情報の提供に関するルールを定めている場合、ルールの内容やルール遵守の確認方法を具体的に記載しているか。また、委託先から他者への提供を認めていない場合、提供されていないことを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.33	Ⅲ 4. 提供ルール	問題は認められない	
		45. 委託先における特定個人情報の消去のルールを定めている場合は、ルールの内容やルール遵守の確認方法を具体的に記載しているか。また、委託契約終了後に消去されていることを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.33	Ⅲ 4. 消去ルール	問題は認められない	
		46. 委託先と締結する委託契約における特定個人情報ファイルの取扱いに関する規定について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.33	Ⅲ 4. 委託契約書中の規定	問題は認められない	
		47. 特定個人情報ファイルの取扱いを再委託している場合、再委託先での適正な取扱いの確保のために行っている措置について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.34	Ⅲ 4. 再委託	問題は認められない	
		48. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.34	Ⅲ 4. その他のリスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑥特定個人情報の提供・移転について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。	49. 特定個人情報の提供又は移転の記録を残している場合は、その記録の内容や記録方法、保存期間等を具体的に記載しているか。また、記録を残していない場合は特定個人情報不正に提供又は移転されることを防止できる理由を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.35	Ⅲ 5. リスク1:	該当なし	—
50. 特定個人情報の提供・移転に関するルールを定めている場合は、ルールの内容やルール遵守の確認方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。		P.35	Ⅲ 5. リスク1:	該当なし		
51. 特定個人情報を提供・移転する際に、情報漏えいや紛失のリスクを軽減するための措置や提供先・移転先における特定個人情報の用途が法令に基づく適切なものであることを確認するための措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。		P.35	Ⅲ 5. リスク2:	該当なし		
52. 誤った特定個人情報を提供・移転することや誤った相手に提供・移転することを防止する措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。		P.35	Ⅲ 5. リスク3:	該当なし		
53. 特定個人情報の提供・移転において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。		P.35	Ⅲ 5. その他の リスク	該当なし		

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑦情報提供ネットワークシステムとの接続について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	54. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手する際に、目的外の入手が行われないために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク1:	該当なし	
		55. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手する際に、特定個人情報の安全が保たれない不適切な方法で特定個人情報を入手しないために講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク2:	該当なし	
		56. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手した後、その情報の正確性を保つために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク3:	該当なし	
		57. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手する際に、情報漏えいや紛失のリスクを軽減するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク4:	該当なし	
		58. 情報提供ネットワークシステムを通じて提供する際に、特定個人情報の不正な提供が行われるリスクを軽減するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク5:	該当なし	
		59. 情報提供ネットワークシステムを通じて提供する際に、特定個人情報の提供方法が不適切とならないよう講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク6:	該当なし	
		60. 情報提供ネットワークシステムを通じて提供する際に、誤った特定個人情報を提供することや、誤った相手に提供することを防止するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.36	Ⅲ 6. リスク7:	該当なし	
		61. 情報提供ネットワークシステムとの接続に伴うリスクについて、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.36	Ⅲ 6. その他の リスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑧特定個人情報の保管・消去について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	62. 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損を防ぐために行っている物理的な対策について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.37	Ⅲ 7. リスク1: ⑤	問題は認められない	特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクに対する対策として、データセンターへの入退室管理を実施すること等の物理的対策や、FW(ファイアウォール)等を導入すること等の技術的対策が具体的に記載されている。
		63. 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損を防ぐために行っている技術的な対策について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.37	Ⅲ 7. リスク1: ⑥	問題は認められない	
		64. 過去3年以内に発生した全ての重大事故の内容、原因、影響、重大事故発生時の対応などについて具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.37	Ⅲ 7. リスク1: ⑨	問題は認められない	
		65. 重大事故を受けて策定・実施した再発防止策の内容について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.37	Ⅲ 7. リスク1: ⑨	問題は認められない	
		66. 死者の個人番号を保管している場合は保管方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.37	Ⅲ 7. リスク1: ⑩	問題は認められない	
		67. 特定個人情報を最新の状態で保管するために行っている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.38	Ⅲ 7. リスク2:	問題は認められない	
		68. 保管期間を経過した特定個人情報を適切な時に安全かつ確実に消去できる手続・体制・手法になっているか等について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.38	Ⅲ 7. リスク3:	問題は認められない	
		69. 特定個人情報の保管・消去において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.38	Ⅲ 7. その他のリスク	問題は認められない	

特定個人情報ファイル
(情報提供等記録ファイル)

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
<p>(8) 特定個人情報保護評価の対象となる事務の内容の記載は具体的か。当該事務における特定個人情報の流れを併せて記載しているか。</p>	<p>② 特定個人情報ファイルの取扱いプロセスの概要(特定個人情報の入手・使用、特定個人情報ファイルの取扱いの委託、特定個人情報の提供・移転、特定個人情報の保管・消去)について、具体的に分かりやすく記載しているか。</p>	<p>8. 対象となる国民・住民の特定個人情報を特定個人情報ファイルにおいて保有することが事務を実施する上で必要な理由を具体的に記載しているか。</p>	P.20	II 2. ③	問題は認められない	<p>特定個人情報を保有する理由について、情報提供ネットワークシステムを使用して特定個人情報の照会・提供があった時は、情報提供ネットワークシステムを使用して行われた特定個人情報の照会・提供のやり取りを対象者ごとに、情報提供等記録ファイルに記録・保存する必要があることが具体的に記載されている。</p> <p>特定個人情報の使用目的について、本人からの開示請求等に対して、対象となる情報提供等の記録を開示すること等のために使用することや情報連携の処理件数等を集計し、統計資料として使用すること等が具体的に記載されている。</p>
		<p>9. 主な記録項目について、保有する理由をそれぞれ具体的に記載しているか。</p>	P.20	II 2. ④	問題は認められない	
		<p>10. 特定個人情報の入手に係る妥当性を具体的に記載しているか。</p>	P.21	II 3. ④	該当なし	
		<p>11. 特定個人情報の入手の事実及び使用目的が本人に示されていることを具体的に記載しているか。</p>	P.21	II 3. ⑤	問題は認められない	
		<p>12. 特定個人情報を使用する理由を具体的に記載しているか。</p>	P.21	II 3. ⑥	問題は認められない	
		<p>13. 特定個人情報ファイルに記録される情報を他から入手する際の突合の内容、特定個人情報ファイルに記録された情報と他の情報との突合の方法や突合の理由を具体的に記載しているか。</p>	P.21	II 3. ⑧	該当なし	
		<p>14. 特定個人情報を用いた統計分析を行う場合は、その内容を具体的に記載しているか。</p>	P.21	II 3. ⑧	問題は認められない	
		<p>15. 特定個人情報を使用することにより国民の権利利益に影響を与え得る決定を行う場合は、その内容を具体的に記載しているか。</p>	P.21	II 3. ⑧	問題は認められない	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
		16. 委託先に当該特定個人情報ファイルを取り扱わせることが必要な理由を具体的に記載しているか。	P.22 ～ P.25	II 4. ②	問題は認められない	
		17. 委託先を国民・住民等が確認できるか否か、確認できる場合はどのように確認できるか、確認できない場合はそのような取扱いが評価対象の事務を実施する上で必要な理由を具体的に記載しているか。	P.22 ～ P.25	II 4. ⑤	問題は認められない	委託先に特定個人情報ファイルを取り扱わせることが必要な理由として、システム全般に係る保守・運用やシステム基盤更改に伴うデータ移行等を適切に実施するため、専門的かつ高度な知識・技術を要すること等が具体的に記載されている。
		18. 特定個人情報ファイルの取扱いを再委託するに当たって、どのような手続・方法によるかを具体的に記載しているか。	P.22 ～ P.25	II 4. ⑧	問題は認められない	
		19. 提供した特定個人情報が、提供先において、いかなる目的で、どのように使用されることになるかを具体的に記載しているか。	P.26	II 5. ②	問題は認められない	情報提供等の記録を閲覧し、自身の特定個人情報の取扱いが適切であることを確認することが具体的に記載されている。
		20. 移転した特定個人情報が、移転先において、いかなる目的で、どのように使用されることになるかを具体的に記載しているか。	P.26	II 5. ②	該当なし	
		21. 特定個人情報の保管場所の態様及び保管場所への立入り制限・アクセス制限について具体的に記載しているか。	P.28	II 6. ①	問題は認められない	特定個人情報の保管・消去について、保管場所においては入退室管理等を厳格に実施し、運用端末からは情報提供等記録用符号を参照できないようにしていること、保管期間経過後は適切に廃棄等を行うこと等が具体的に記載されている。
		22. 特定個人情報の保管期間は妥当であるか。また、その理由を具体的に記載しているか。	P.28	II 6. ②	問題は認められない	情報提供ネットワークシステム移行の際に実施する特定個人情報の消去について、機器を破棄する場合、データを復元できないようディスクを物理的に破壊し、職員が当該措置の完了まで立ち会いを行うなど確実な履行を担保すること等が具体的に記載されている。
		23. 保管期間を経過した特定個人情報を消去する方法を具体的に記載しているか。	P.28	II 6. ③	問題は認められない	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
<p>(10) 特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置についての記載は具体的か。</p> <p>(11) 記載されたリスクを軽減させるための措置は、個人のプライバシー等の権利利益の侵害の未然防止、国民・住民の信頼の確保という特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	<p>③ 特定個人情報の入手について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。</p>	<p>24. 評価対象の事務を遂行する上で必要な者以外の者の特定個人情報を入手しないよう講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク1:	該当なし	—
		<p>25. 事務を遂行する上で必要な情報以外の特定個人情報を入手しないよう講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク1:	該当なし	
		<p>26. 特定個人情報の入手に際して、適切な方法で入手するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク2:	該当なし	
		<p>27. 特定個人情報を入手する際に、その特定個人情報が本人の情報であることを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク3:	該当なし	
		<p>28. 入手した個人番号が本人の個人番号で間違いないことを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク3:	該当なし	
		<p>29. 特定個人情報を入手した後、その情報の正確性を保つために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク3:	該当なし	
		<p>30. 特定個人情報を入手する際に、情報の安全確保の観点から講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	P.39	Ⅲ 2. リスク4:	該当なし	
		<p>31. 特定個人情報の入手において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。</p>	P.39	Ⅲ 2. その他の リスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
④特定個人情報の使用につ いて、特定され たリスクを 軽減するた めに講ずべき 措置を具体的 に記載してい るか。記載さ れた対策は、 特定個人情報 保護評価の目 的に照らし妥 当なものか。		32. 宛名システム等において、特定 個人情報、使用目的を超えて取り 扱われないよう、また、評価対象の 事務に必要な情報と併せて取り 扱われないよう、講じている対策を具 体的に記載しているか。記載された 対策は、特定個人情報保護評価の 目的に照らし、妥当なものか。	P.40	Ⅲ 3. リスク1:	問題は認 められな い	権限のない者によって不正に使用 されるリスクへの対策として、アクセス 権限の発行・失効に係る記録を管理 するほか、職員や運用者の異動等に 伴い、必要な権限を確認し、迅速に 発行・失効を実施すること等が具体 的に記載されている。 また、特定個人情報ファイルが不正 に複製されるリスクへの対策として、 許可されていない外部媒体への書き 出しを系統的に禁止すること等が具 体的に記載されている。 情報提供等記録用符号の生成につ いては、特定個人情報の使用に係る リスク及びリスク対策として具体的に 記載されている。 情報提供ネットワークシステム移行 に伴うリスク対策として、特定個人情 報のデータ移行は同一センター内 で行い、第三者はアクセスできないこ とが具体的に記載されている。 また、移行用一時ファイルを暗号化 すること、移行用一時ファイルのアク セスを制限し一般ユーザからのアク セスを不可とすること、ログ情報等の 統合分析・監査を行うシステム (SIEM)を用いて、作業ログ、ファイ ル、フォルダ等のアクセス状況を監 視・分析し、不正の兆候や不正アクセ スの検知を行うこと等が具体的に記 載されている。
		33. 事務で使用するその他のシステ ムにおいて、特定個人情報、使用 目的を超えて取り扱われないよう、ま た、評価対象の事務に必要な情報と併 せて取り扱われないよう、講じて いる対策を具体的に記載している か。記載された対策は、特定個人情 報保護評価の目的に照らし、妥当な ものか。	P.40	Ⅲ 3. リスク1:	問題は認 められな い	
		34. 特定個人情報にアクセスする際 の認証を行う場合は、特定個人情報 にアクセスするユーザの認証方法、 なりすましが行われないために講じ ている対策について具体的に記載し ているか。記載された対策は、特定 個人情報保護評価の目的に照らし、 妥当なものか。	P.40	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認 められな い	
		35. 特定個人情報ファイルを取り扱う 者が正当なユーザであることを確認 するための情報の発効・失効の管理 について具体的に記載しているか。 記載された対策は、特定個人情報保 護評価の目的に照らし、妥当なもの か。	P.40	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認 められな い	
		36. アクセス権限の発効・失効の管 理を行う者による当該管理の適正性 についてチェックをしている内容を具 体的に記載しているか。記載された 対策は、特定個人情報保護評価の目 的に照らし、妥当なものか。	P.40	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認 められな い	
		37. 特定個人情報の入手から消去ま での各過程において、特定個人情報 ファイルの取扱い記録やアクセスの 失敗の記録などを残していることを 具体的に記載しているか。記録を残 していない場合は、残していなくても 権限のない者による不正な使用を防 止できる理由を具体的に記載してい るか。記載された対策は、特定個人 情報保護評価の目的に照らし、妥当 なものか。	P.40	Ⅲ 3. リスク2:	問題は認 められな い	
		38. 従業者が特定個人情報ファイル を事務外で使用しないよう講じてい る措置を具体的に記載しているか。記 載された対策は、特定個人情報保護 評価の目的に照らし、妥当なもの か。	P.41	Ⅲ 3. リスク3:	問題は認 められな い	
		39. 特定個人情報ファイルを取り扱う 者が特定個人情報ファイルを不正に 複製しないよう講じている措置を具 体的に記載しているか。記載された 対策は、特定個人情報保護評価の目 的に照らし、妥当なものか。	P.41	Ⅲ 3. リスク4:	問題は認 められな い	
		40. 特定個人情報の使用において、 その他のリスク及びそれらのリスク への対策についての記載はあるか。	P.41	Ⅲ 3. その他の リスク	問題は認 められな い	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査結果	所見
⑤特定個人情報の委託について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。		41. 委託先を決定する際に特定個人情報ファイルを適切に取り扱う委託先であることを確認する手続等について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.42	Ⅲ 4. 情報管理体制	問題は認められない	<p>特定個人情報ファイルの取扱いの委託における特定個人情報ファイルの取扱いについては、委託契約書にて具体的にルールを定めているほか、システムへのアクセスログ等を記録・分析し、不正ログイン等を検知できるようにしていること等が具体的に記載されている。</p> <p>また、再委託は原則として行わないこととしているが、再委託を行う場合には、再委託先に対して委託先と同等の安全管理措置を義務付け、必要かつ適切な監督を行うこと等が具体的に記載されている。</p> <p>また、委託契約終了後の特定個人情報の消去については、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)に準拠した廃棄プロセスを確保すること等が具体的に記載されている。</p>
		42. 委託先において特定個人情報ファイルの閲覧者・更新者を必要最小限に制限していることを具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.42	Ⅲ 4. 閲覧者の制限	問題は認められない	
		43. 委託先における特定個人情報ファイルの取扱いについて記録を残している場合は、その方法や保存期間等を具体的に記載しているか。また、記録を残していない場合は権限のない者による不正な使用を防止できる理由を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.42	Ⅲ 4. 記録	問題は認められない	
		44. 委託に伴う特定個人情報の提供に関するルールを定めている場合、ルールの内容やルール遵守の確認方法を具体的に記載しているか。また、委託先から他者への提供を認めていない場合、提供されていないことを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.42	Ⅲ 4. 提供ルール	問題は認められない	
		45. 委託先における特定個人情報の消去のルールを定めている場合は、ルールの内容やルール遵守の確認方法を具体的に記載しているか。また、委託契約終了後に消去されていることを確認する方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.42	Ⅲ 4. 消去ルール	問題は認められない	
		46. 委託先と締結する委託契約における特定個人情報ファイルの取扱いに関する規定について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.43	Ⅲ 4. 委託契約書中の規定	問題は認められない	
		47. 特定個人情報ファイルの取扱いを再委託している場合、再委託先での適正な取扱いの確保のためにやっている措置について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.43	Ⅲ 4. 再委託	問題は認められない	
		48. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.43	Ⅲ 4. その他のリスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑥特定個人情報の提供・移 転について、 特定されたリ スクを軽減す るために講ず べき措置を具 体的に記載し ているか。記 載された対策 は、特定個人 情報保護評価 の目的に照ら し、妥当なもの か。	49. 特定個人情報の提供又は移転 の記録を残している場合は、その記 録の内容や記録方法、保存期間等 を具体的に記載しているか。また、記 録を残していない場合は特定個人情 報が不正に提供又は移転されること を防止できる理由を具体的に記載し ているか。記載された対策は、特定 個人情報保護評価の目的に照らし、 妥当なものか。	P.44	Ⅲ 5. リスク1:	問題は認 められな い	特定個人情報の提供・移転につい て、不正な提供・移転が行われること に対するリスク対策として、情報提供 等記録開示システムを介して行われ た本人からの情報提供等記録の提 供要求等、情報提供等記録の提供・ 抽出情報を情報提供ネットワークシ ステムにて全て記録・管理することと していること等が具体的に記載されて いる。 また、誤った相手に提供してしまうリ スクへの対策として、書面により行わ れた本人等からの開示請求又は個 人情報保護委員会からの報告若し くは資料の提出の求めがあった場合 には、定められた手順にのっとり、本人 確認書類等により請求者の真正性の 確認を行うこと等が具体的に記載さ れている。
		50. 特定個人情報の提供・移転に関 するルールを定めている場合は、 ルールの内容やルール遵守の確認 方法を具体的に記載しているか。記 載された対策は、特定個人情報保護 評価の目的に照らし、妥当なもの か。	P.44	Ⅲ 5. リスク1:	問題は認 められな い	
		51. 特定個人情報を提供・移転する 際に、情報漏えいや紛失のリスクを 軽減するための措置や提供先・移転 先における特定個人情報の使途が 法令に基づく適切なものであること を確認するための措置を具体的に記 載しているか。記載された対策は、 特定個人情報保護評価の目的に照 らし、妥当なものか。	P.44	Ⅲ 5. リスク2:	問題は認 められな い	
		52. 誤った特定個人情報を提供・移 転することや誤った相手に提供・移 転することを防止する措置を具体的 に記載しているか。記載された対策 は、特定個人情報保護評価の目的 に照らし、妥当なものか。	P.45	Ⅲ 5. リスク3:	問題は認 められな い	
		53. 特定個人情報の提供・移転にお いて、その他のリスク及びそれらのリ スクへの対策についての記載はある か。	P.45	Ⅲ 5. その他 の リスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑦情報提供ネットワークシステムとの接続について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	54. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手する際に、目的外の入手が行われないために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク1:	該当なし	
		55. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手する際に、特定個人情報の安全が保たれない不適切な方法で特定個人情報を入手しないために講じている対策を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク2:	該当なし	
		56. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手した後、その情報の正確性を保つために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク3:	該当なし	
		57. 情報提供ネットワークシステムを通じて特定個人情報を入手する際に、情報漏えいや紛失のリスクを軽減するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク4:	該当なし	
		58. 情報提供ネットワークシステムを通じて提供する際に、特定個人情報の不正な提供が行われるリスクを軽減するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク5:	該当なし	
		59. 情報提供ネットワークシステムを通じて提供する際に、特定個人情報の提供方法が不適切とならないよう講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク6:	該当なし	
		60. 情報提供ネットワークシステムを通じて提供する際に、誤った特定個人情報を提供することや、誤った相手に提供することを防止するために講じている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.46	Ⅲ 6. リスク7:	該当なし	
		61. 情報提供ネットワークシステムとの接続に伴うリスクについて、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.46	Ⅲ 6. その他の リスク	該当なし	

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
	⑧特定個人情報の保管・消去について、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	62. 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損を防ぐために行っている物理的な対策について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.47	Ⅲ 7. リスク1: ⑤	問題は認められない	特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクに対する対策として、データセンターへの入退室管理を実施すること等の物理的対策や、FW(ファイアウォール)等を導入すること等の技術的対策が具体的に記載されている。 特定個人情報が消去されずいつまでも存在するリスクに対する対策として、保存期間経過後は、システムにより自動的に消去するなど適切に処理することが具体的に記載されている。
		63. 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損を防ぐために行っている技術的な対策について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.47	Ⅲ 7. リスク1: ⑥	問題は認められない	
		64. 過去3年以内に発生した全ての重大事故の内容、原因、影響、重大事故発生時の対応などについて具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.47	Ⅲ 7. リスク1: ⑨	問題は認められない	
		65. 重大事故を受けて策定・実施した再発防止策の内容について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.47	Ⅲ 7. リスク1: ⑨	問題は認められない	
		66. 死者の個人番号を保管している場合は保管方法を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.47	Ⅲ 7. リスク1: ⑩	問題は認められない	
		67. 特定個人情報を最新の状態で保管するために行っている措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.48	Ⅲ 7. リスク2:	問題は認められない	
		68. 保管期間を経過した特定個人情報を適切な時に安全かつ確実に消去できる手続・体制・手法になっているか等について具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。	P.48	Ⅲ 7. リスク3:	問題は認められない	
		69. 特定個人情報の保管・消去において、その他のリスク及びそれらのリスクへの対策についての記載はあるか。	P.48	Ⅲ 7. その他のリスク	問題は認められない	

評価実施機関に特有の問題に対するリスク対策

審査の観点 (指針第10(2))	主な考慮事項	主な考慮事項(細目)	該当箇所		審査 結果	所見
<p>(10) 特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置についての記載は具体的か。</p> <p>(11) 記載されたリスクを軽減させるための措置は、個人のプライバシー等の権利利益の侵害の未然防止、国民・住民の信頼の確保という特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	<p>⑩その他、評価実施機関に特有な問題や懸念に対し、特定されたリスクを軽減するために講ずべき措置を具体的に記載しているか。記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし妥当なものか。</p>	<p>74. 情報提供ネットワークシステムのシステム基盤の更改に伴い、特定個人情報ファイルをデータ移行する際のリスク対策について具体的に記載されているか。また、記載された対策は、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当なものか。</p>	<p>P.32 P.41</p>	<p>Ⅲ 3. リスク4:</p>	<p>問題は認められない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定個人情報のデータ移行は同一センター内で行い、第三者はアクセスできないこと ・移行用一時ファイルを暗号化すること ・移行用一時ファイルのアクセスを制限し、一般ユーザからのアクセスを不可とすること ・ログ情報等の統合分析・監査を行うシステム(SIEM)を用いて、作業ログ、ファイル、フォルダ等のアクセス状況を監視・分析し、不正の兆候や不正アクセスの検知を行うこと 等が具体的に記載されており、特定個人情報保護評価の目的に照らし、妥当である。

【総評】

- (1) 情報提供ネットワークシステムの運営に関する事務においては、特定個人情報ファイルを取り扱うことについて、一連の事務の内容や流れが具体的に記載されており、特段の問題は認められないものと考えられる。
- (2) 事務で取り扱われる特定個人情報ファイルの取扱いについてのリスク及びリスク対策が具体的に記載されており、特段の問題は認められないものと考えられる。
- (3) 情報提供ネットワークシステムのシステム基盤の更改に伴い、特定個人情報ファイルをデータ移行する際のリスク対策等、本評価対象事務において懸念されるリスク及びリスク対策についても、具体的に記載されており、特段の問題は認められないものと考えられる。

【個人情報保護委員会による審査記載事項】

(VI 評価実施手続 4. 個人情報保護委員会の承認)

- (1) 情報提供ネットワークシステムの運営に関する事務の内容、特定個人情報ファイルの内容、特定個人情報の流れ並びにリスク及びリスク対策が具体的に記載されており、特段の問題は認められないと考えられるが、特定個人情報保護評価書に記載されているとおり確実に実行する必要がある。
- (2) 特定個人情報のインターネットへの流出を防止する対策については、インターネットを通じて外部に特定個人情報が漏えいしないよう、情報提供ネットワークシステムをインターネットから物理的に分離する旨が記載されているが、特定個人情報保護評価書に記載されているとおり確実に実行する必要がある。
- (3) 組織的及び人的安全管理措置については、適切な組織体制の整備、職員への必要な教育・研修、実効性のある自己点検・監査等を実施し、実務に即して適切に運用・見直しを行うことが重要である。
- (4) 情報漏えい等に対するリスク対策全般について、特定個人情報保護評価書に記載されているとおり確実に実行することに加え、不断の見直し・検討を行うことが重要である。